

石橋孝次研究会

—ミクロ経済学・産業組織—

1. 研究分野

本研究会ではミクロ経済学を軸として、企業と市場の経済学である産業組織の研究を行う。

市場メカニズムの機能は厚生経済学の第1基本定理に集約されるが、同時に限界もあることはよく知られている。現実の経済は純粋な完全競争市場ではなく、何の施策もなければ機能不全に陥るのが常である。経済が健全に機能するには、政府が適切に介入を行うことも必要だし、組織や制度による資源配分が市場を補完することも必要である。私の主な関心は、現実の多くの企業は少なからず市場支配力をもつこと、また現実の経済活動はほぼ例外なく不完全もしくは非対称な情報の下で行われることを念頭において、市場メカニズムの限界とは是策を明らかにすることにある。この目的のためには、他の経済学分野と同様、理論分析と実証分析の両方が必要になる。理論は経済問題を理解し解決策を探るためにあるという意味で、現実の経済問題との接点を見失った理論は健全ではないし、他方理論を軽視した実証分析も同様に健全ではないと考えている。

産業組織 (Industrial Organization) とは、不完全競争市場での企業行動の分析や需要の分析を通じて社会的に望ましい競争政策のあり方を考察する学問である。それと同時に、ビジネススクールなどに設置されている経営戦略論の基礎となっている学問でもある。より具体的に言えば、独占企業や寡占企業の価格戦略・品質や広告などの製品差別化行動・イノベーションと技術革新・企業の合併や統合・参入阻止などの問題について、ミクロ経済学に基づいた分析を行う分野である。また産業組織で主役となる主体は企業であり、企業の経営・組織・財務を考察する広い意味での企業理論は産業組織と密接に関わっている。本研究会では、ミクロ経済学と計量経済学を分析用具としながら、企業理論を含んだ産業組織の理論・実証研究を行う。

本ゼミ活動では、第1に分析ツールとしてゲーム理論・契約理論・行動経済学を学び、第2にゼミの研究分野である産業組織

に関する文献を学習する。そして第3に、3年生と4年生がそれぞれ個別の研究テーマに関する発表を行う。英語は重要な言語であり社会に出てからも絶対に必要なもので、教材としては英語文献を扱うことが多い。春学期はテキストによる基礎的学習にウェイトをおき、秋学期には研究書や専門的な学術論文を用いる。またプレゼンテーションのスキルの養成はゼミ活動の重要な目的の1つであり、通常の授業は学生によるパワーポイントを用いたプレゼンテーションに基づいて行う。

本ゼミでは理論分析を主とするが、実証分析に必要な計量経済学を学ぶためにサブゼミを設置する。またゼミ活動を円滑に遂行する上で必要な基礎知識の補充を行うため、私が担当する三田の授業の他にいくつかの授業を履修することを求める。その他に3年生は、パートゼミで個別研究および共同研究を行う。4年生には相応の覚悟で卒業論文の作成に臨んでもらう。これは研究会活動の最終目的であり、学生生活において自らを鍛錬する最後の機会である。本研究会の卒業論文では、産業組織またはそれに関連する分野から具体的な問題を取り上げて理論分析および実証分析を行うことが求められる。卒業論文に取り組むためには分析能力を習得することだけでなく、普段のゼミ活動を通じて適切な問題意識を養っておくことが必要である。

2. 学生への要望

本研究会の趣旨を理解し、三田で充実した学生生活を送ることを望む諸君の入会を期待している。日吉ではミクロ経済学・マクロ経済学・数学・統計学・英語をできるだけ十分に学習しておいてもらいたい。これは三田の授業やゼミでの学習にとって必要であるだけでなく、社会に出てからも非常に有用な知識になるからである。

3. 選考について

- ① 募集人員：15名程度
- ② 選考内容：筆記試験および面接
- ③ 選考基準：筆記試験(90%程度)・面接(10%程度)。試験の出題範囲はミクロ経済学全般の内容とし、持込不可とする。日吉での成績は問わない。

4. ゼミ員構成

3年生 名(男7名、女4名)(留学中0名)
4年生 名(男11名、女1名)(留学中1名)

活動内容

① 本ゼミ (月曜4,5限)

産業組織論の理論研究と実証研究の両面から学習を進めていきます。学期の始めに割り振られた担当箇所について担当者がpower pointを用いてプレゼンを行います。

(春学期)

教授に指定された日本語、英語のテキストを用いて産業組織論について、もしくはその周辺知識を学んでいます。

(秋学期)

3年生は春学期で学んだことを生かして産業組織論の英語論文をプレゼンします。4年生は卒論の中間発表を行います。

② サブゼミ (春学期 木曜5限)

産業組織論の実証分析を行う際に必要不可欠な、計量分析の理論や方法を学んでいきます。毎週木曜日にパソコン室を利用して3年生は計量経済学の理論についてpower pointによるプレゼンを行い、4年生は計量ソフトSTATAの演習問題を実演、解説します。教授にも参加していただいてアドバイスを頂きます。

③ パートゼミ

産業組織パート、経営戦略パート、競争政策パートの3つのパートに分かれて三田論に向けて各自で学習を進めていきます。今年は教授に指定された教科書をパート内で発表してから三田論の準備に取り掛かりました。
*パートごとに任意の時間に週1時間

④ インゼミ

行っていません。

⑤ 課外活動

行っていません。

⑥ 三田祭

パートごとに論文を発表します。

⑦ 夏休み

9月中旬に合宿があります。それ以外には特にありませんが、合宿も下準備をパートごとに進めていく必要があります。

⑧ 合宿

9月中旬に3泊4日の合宿を行います。3年生は三田論の中間発表、4年生は卒論の中間発表を行います。

⑨ 授業

・ミクロ経済学中級Ⅱab(三田 水曜2限)
・産業組織論ab(三田 水曜3限)
・計量経済学中級ab(三田 春集中 火曜1,2限)
この3つの授業が必修科目になります。

⑩ 経費

ゼミ費 2万円
合宿費 3万5000円

5. ゼミ試験対策で使用した参考書

武隈慎一(1994)演習ミクロ経済学 新世社
奥村正寛(2008)ミクロ経済学 東京大学出版

6. 先生が担当している講義

・ミクロ経済学中級Ⅱa(三田 春学期 水曜2限)
・産業組織論b(三田 秋学期 水曜3限)
・ミクロ経済学初級Ⅱ(日吉 秋学期 木曜1限)

7. ゼミHP

<http://www.clb.econ.mita.keio.ac.jp/ishibashi/>

8. 連絡先

外ゼミ代表 上野 浩
連絡先 kouyeno@a7.keio.jp
内ゼミ代表 関口 尚輝
連絡先 nase0000ff@gmail.com
入ゼミ担当 足立 春花
連絡先 fssf0404@gmail.com

